

# 「温泉観光実践士」養成講座

大阪観光大学観光学研究所

## 【開講の趣旨】

大阪観光大学観光学研究所では、日本を代表する観光資源である温泉資源が有効に利用され、正しく活用されることで、いままで以上に温泉と温泉地が広く国民に愛され、さらにはONSENとして外国人にも親しく利用されることを願ってやみません。

しかし、ここ数年、温泉偽装、ガス爆発、レジオネラ症による事故などが発生し、温泉に対する社会的な不信・不安が生じた事実は周知の通りです。一方、バブル経済の崩壊で、全国の温泉観光地では団体旅行の激減などで、観光客数が減少し、温泉旅館の経営不振が顕在化してきました。

そこで、観光学研究所では、温泉の正しい理解、温泉観光地の活性化に関する人材の育成を意図して、2009年7月に引き続いて、第2回「温泉観光実践士」養成講座を開講することにしました。主に実践面を重視した講座を意図しており、温泉分析書、温泉旅館の経営、温泉地の活性化、関西の温泉地などの科目を取り入れました。

講師は、研究所の研究員及び客員研究員で、温泉及び温泉地に関する大阪を代表する専門家であります。実践面を重視した平易な講義によって、温泉を正しく理解した上で、温泉観光地の振興・活性化に寄与する人材を育成したいと考えます。全講義受講生には観光学研究所所定の「温泉観光実践士」の認定証を発行致します。

なお、温泉施設の管理、科学的な分野につきましては、(財)中央温泉研究所・(社)日本温泉協会・温泉工学会・日本温泉管理士会共催の温泉経営管理研修会、学会レベルの講座の場合は日本温泉地域学会開催の温泉観光士の講座を紹介致します。

## 【開催日時と講義内容】

### (1)2010年6月26日(土)

時間	講義内容等	講師
09:15-09:45	受付	
09:45-10:00	開講式	観光学研究所所長
10:00-11:00	①温泉地の歴史	浦達雄
11:10-12:10	②温泉地と文学	安達清治
12:10-13:00	昼休み	
13:10-14:10	③温泉の定義と分類	高垣聡
14:20-15:20	④温泉の成分と泉質・効果	高垣聡
15:30-16:30	⑤温泉分析書の見方・読み方	高垣聡
16:30以降	移動(送迎付。17:00 大学正門出発)	
18:30~20:00	懇親会(み奈美亭)(自由参加)	

### (2)2010年6月27日(日)

09:00	移動(送迎付。09:15 み奈美亭正門玄関前出発)	
10:00-11:00	⑥温泉旅館の経営	浦達雄
11:10-12:10	⑦温泉地の活性化	浦達雄
12:10-13:00	昼休み	
13:10-14:10	⑧温泉と健康	中尾清
14:20-15:20	⑨関西の温泉地	中尾清
15:20-15:50	レポート作成	
15:50-16:10	閉校式・認定書授与	観光学研究所所長

## 【開催場所】

大阪観光大学（〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南 5-3-1）

## 【受講定員】

受講定員は、原則ありませんが、宿泊施設の定員の都合上、宿泊を希望する受講生は先着 50 人とします。

## 【受講料】

受講料は 1 科目 500 円、資料代 1,000 円。9 科目受講（資料代込み）の場合は 5,000 円とします。2009 年受講生で、当日配布した資料（小冊子）『温泉の正しい理解と温泉地の活性化』を持参する方は、資料代 1,000 円は不要です。

1 日目終了の際、み奈美亭（泉佐野市犬鳴山温泉）で宿泊懇親会を実施します。その際は、宿泊費は別途 1 万 2,750 円（1 泊 2 食（1 部屋 4 人。ビール・ソフトドリンク付））となります。日帰りで受講し、み奈美亭で宿泊しないで、懇親会に参加する場合は、夕食懇親会費 7,000 円（ビール・ソフトドリンク付）を別途徴収致します。また、両日共、昼食が必要な方には、1,000 円/1 日でご用意いたします。

## 【申込方法】

郵便局から下記の口座に振込後、「受講申込書」を郵送、FAX または e-mail にてお送りください。

振込先： 口座番号〔00950-1-191662〕

加入者名〔大阪観光大学〕

振込人住所氏名〔住所・氏名・電話番号〕

（郵便局備え付けの振込用紙で振り込んでください）

振込期限：（宿泊の場合）平成 22 年 6 月 09 日（水）

（日帰りの場合）平成 22 年 6 月 23 日（水）

申込書送付先： 〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南 5-3-1

大阪観光大学「温泉観光実践士」

Tel 072-453-8222 Fax 072-453-1451

e-mail kouza@tourism.ac.jp

「領収書」につきましては、振込金受領証をもってかえさせていただきます。

一旦振り込まれた料金の払い戻しはできませんので、ご注意ください。

（お問い合わせ先）

大阪観光大学「温泉観光実践士」

Tel 072-453-8222

Fax 072-453-1451

e-mail kouza@tourism.ac.jp

# 講師プロフィール

2010年4月1日現在

## 安達清治：担当科目(温泉地と文学)

大阪観光大学観光学部教授、大阪観光大学観光学研究所研究員・研究調査部長  
早稲田大学文学部卒業  
温泉愛好会(大阪観光大学)会長、温泉学会監事、日本温泉地域学会会員、東京・江戸川川柳  
サークル会員、温泉カリスマ(温泉愛好会)  
主著：観光学入門(共著)(晃洋書房)、ツーリズムビジネスー日本と世界の旅行産業(創成社)、  
江戸川柳で見る“江戸の旅人”(遊企画出版社)、近代の温泉と作家(近代文芸社)など

## 浦 達雄：担当科目(温泉地の歴史、温泉旅館の経営、温泉地の活性化)

大阪観光大学観光学部長・教授、大阪観光大学観光学研究所研究員・次長  
都留文科大学文学部卒業、立正大学大学院文学研究科修士課程地理学専攻修了  
博士(学術)(千葉大学)  
温泉愛好会(大阪観光大学)事務局長、日本温泉地域学会理事、温泉学会会員、(社)日本温泉  
協会・学術部委員、別府八湯温泉道初代名人、温泉カリスマ(温泉愛好会)  
主著：観光学入門(共著)(晃洋書房)、別府八湯湯遍路日記(クリエイツ.)、別府温泉郷の観  
光地域形成に関する研究(クリエイツ.)、観光地の成り立ちー温泉・高原・都市ー(古今書院)、  
温泉図鑑ー文化編(共著)(日本温泉協会)、入門おとなの温泉旅ドリル(共著)(ダイヤモンド  
・ビック社)など

## 高垣 聡：担当科目(温泉の定義と分類、温泉の成分と泉質・効果、温泉分析書の見方・読み方)

昭文社まっぷる「温泉&やど」「日帰り温泉」シリーズ編集長  
東京大学文学部卒業  
大阪観光大学観光学研究所客員研究員、温泉愛好会(大阪観光大学)副会長、日本温泉地域学  
会会員、温泉カリスマ(温泉愛好会)  
主著：まっぷる「温泉&やど」「日帰り温泉」シリーズ(森祐紀のペンネームで記事執筆多  
数)(昭文社)、日本全図(制作)(昭文社)、ファイナルファンタジーII完全攻略本[前・後](制  
作)(徳間書店)など

## 中尾 清：担当科目(温泉と健康、関西の温泉地)

大阪観光大学観光学部・教授、前学部長、大阪観光大学観光学研究所研究員・所長  
神戸大学経営学部卒業、同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程(前期課程)修了  
温泉愛好会(大阪観光大学)副会長、温泉学会理事、日本温泉地域学会会員、温泉カリスマ(温  
泉愛好会)  
主著：観光学入門(共著)(晃洋書房)、神戸と横浜における「都市観光」の展開(たいせい)、観  
光概論講義(摂河泉文庫)、都市観光行政論(たいせい)、自治体の観光政策と地域活性化(イ  
マジン出版)など

# 温泉観光実践士「受講申込書」

フリガナ 氏名		男 ・ 女  才
住所 〒  Tel :  Fax :  e-mail :		
受講 コ ー ス (○を付けてください)	一部の講義のみ受講 (受講講義に○を付けてください)  6/26(土) 1・2・3・4・5  6/27(日) 6・7・8・9  ____講座×500円+1,000円(資料代) +  <input type="checkbox"/> 6/26 昼食1,000円 + <input type="checkbox"/> 6/27 昼食1,000円 = _____円 (昼食が必要な方は、チェックしてください)	
	全講義を受講 (懇親会不参加、宿泊なし)  5,000円 + <input type="checkbox"/> 6/26 昼食1,000円 + <input type="checkbox"/> 6/27 昼食1,000円 = _____円 (昼食が必要な方は、チェックしてください)	
	全講義を受講 (懇親会参加、宿泊なし)  12,000円 + <input type="checkbox"/> 6/26 昼食1,000円 + <input type="checkbox"/> 6/27 昼食1,000円 = _____円 (昼食が必要な方は、チェックしてください)	
	全講義を受講 (懇親会参加、宿泊あり)  17,750円 + <input type="checkbox"/> 6/26 昼食1,000円 + <input type="checkbox"/> 6/27 昼食1,000円 = _____円 (昼食が必要な方は、チェックしてください)	

## 【個人情報の取り扱い】

皆様の個人情報は、本研究所が管理し、法令などに基づき開示する場合を除き、本人の同意なく開示・提供することはありません。